



## 2025年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年2月14日

上場会社名 株式会社Finatextホールディングス 上場取引所 東  
 コード番号 4419 URL https://hd.finatext.com/  
 代表者(役職名) 代表取締役CEO (氏名) 林 良太  
 問合せ先責任者(役職名) 取締役CFO (氏名) 伊藤 祐一郎 (TEL) 03(6265)6828  
 配当支払開始予定日 —  
 決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

## 1. 2025年3月期第3四半期の連結業績(2024年4月1日~2024年12月31日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第3四半期	5,192	42.9	501	—	490	—	413	—
2024年3月期第3四半期	3,633	28.1	38	—	33	—	△141	—

(注) 包括利益 2025年3月期第3四半期 428百万円(—%) 2024年3月期第3四半期 △207百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第3四半期	8.17	7.94
2024年3月期第3四半期	△2.86	—

(注) 2024年3月期第3四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、新株予約権の残高がありますが、1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期第3四半期	17,418	9,340	50.0
2024年3月期	20,175	8,721	40.6

(参考) 自己資本 2025年3月期第3四半期 8,706百万円 2024年3月期 8,181百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2025年3月期	—	0.00	—	—	—
2025年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日~2025年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,627	41.9	831	305.5	815	319.4	571	—	11.31

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無  
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料P.9「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3)四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2025年3月期3Q	51,300,212株	2024年3月期	50,070,184株
2025年3月期3Q	一株	2024年3月期	一株
2025年3月期3Q	50,544,290株	2024年3月期3Q	49,517,442株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無

監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する主旨のものではありません。また実際の業績などは様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	1
(1) 経営成績に関する説明	1
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報等)	9
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当社グループ（当社及び当社の関係会社）は、「金融をサービスとして再発明する」をミッションに掲げております。このミッションのもと、金融サービス事業者向けの次世代クラウド基幹システムの提供等を通じて、パートナー企業とともに人々にとって遠い存在である金融サービスを暮らしに寄り添ったものを目指すことを目指しております。

今般、日本の経済は新型コロナウイルス感染症の影響が薄まり、政府や日銀による各種経済政策の効果も相まって社会活動の正常化に向けた動きが見られ、経済が持ち直し始めているものの、世界的な金融引き締めによる物価高騰や急激な円安などの影響もあり、景気の先行きについては不透明な状況が続いています。しかしながら、金融サービスにおけるデジタルトランスフォーメーションの流れは衰えることなく、当社グループが提供するサービスのニーズもより一層高まっていると認識しております。

このような事業環境のもと、当第3四半期連結累計期間においては、継続的な事業成長を実現するため、引き続き人材採用や機能拡充に積極的に取り組んでまいりました。

この結果、前連結会計年度末以降、金融インフラストラクチャ事業において新規パートナーの導入に伴うフロー収益の増加と既存パートナーのサービス成長に伴う従量課金収益の増加、ビッグデータ解析事業のデータAIソリューションビジネスの成長に伴うフロー収益の増加により、当第3四半期連結累計期間における売上高は5,192,480千円（前年同期比42.9%増）、営業利益501,827千円（前年同期は38,155千円）、経常利益490,345千円（前年同期は33,092千円）、親会社株主に帰属する四半期純利益は413,100千円（前年同期は141,787千円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となりました。

セグメント別の業績は以下の通りです。

#### (i) 金融インフラストラクチャ事業

金融インフラストラクチャ事業では、金融サービスを運営するために必要となる複雑な基幹システムを、クラウド上でSaaS型のシステムとして顧客に提供するものであります。

証券インフラストラクチャビジネスでは、新規パートナーへの導入支援、サービス提供しているパートナーへの保守運用に注力しました。当第3四半期連結会計期間においては、新規パートナーへの開発支援によるフロー収益と投資一任サービスを提供するパートナーの顧客が保有するAUMの拡大等に伴って増加する従量課金収益が売上高の拡大に寄与しました。

サービスの初期開発については、三菱UFJアセットマネジメント株式会社が「BaaS」へシステム移管し、投資信託の新しい直販サービス「mattoco+」をローンチしました。また、IFA事業者である株式会社バリューマネジメント及び株式会社LIFE-Dが「BaaS」を活用したサービスを開始しました。この結果、「BaaS」上での稼働サービス数は17サービス（前連結会計年度末時点：12サービス）となっております。

保険インフラストラクチャビジネスでは、新規パートナーの獲得に向けた「Inspire」の機能の拡充と、新規パートナーへの初期導入支援に注力いたしました。当第3四半期連結累計期間においては、「Inspire」の機能を拡充、初期導入先向けへの開発業務に注力しました。

初期導入支援については、当第3四半期連結累計期間中の新規ローンチはなかったため、「Inspire」上での稼働社数は10社（前連結会計年度末時点：9社）となっております。

クレジットインフラストラクチャビジネスでは、引き続きクレジットインフラストラクチャ「Crest」の基盤開発に注力しました。当第3四半期連結累計期間においては、株式会社B4A Technologiesが「Crest」を活用した医療ローンの組込みを開始しました。この結果、「Crest」上での稼働社数は2社（前連結会計年度末時点：1社）となっております。

コスト面については、各ビジネスともに、将来のビジネス拡大を見据え、引き続き人材採用、機能拡充の先行投資を行ってまいりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の金融インフラストラクチャ事業の売上高は2,996,571千円（前年同期比64.1%増）、セグメント利益は245,714千円（前年同期は291,167千円のセグメント損失）となりました。

(ii) フィンテックソリューション事業

フィンテックソリューション事業では、金融機関向けにデジタルトランスフォーメーション及びデジタルマーケティングの支援を行っております。

ソリューションビジネスでは、システム構築を支援した既存顧客向けに追加機能拡充の支援等を進めました。

以上の結果、新プロジェクトからのフロー収益及びストック収益が拡大し、当第3四半期連結累計期間のフィンテックソリューション事業の売上高は986,119千円（前年同期比7.6%増）、セグメント利益は37,833千円（前年同期比66.9%減）となりました。

(iii) ビッグデータ解析事業

ビッグデータ解析事業は、ビッグデータを保有する企業のデータ利活用の促進を支援しており、企業の持つビッグデータを機関投資家や官公庁に提供するデータライセンスビジネス、生成AIの活用を支援するデータAIソリューションビジネス、企業のデータ利活用を支援するデータ解析支援ビジネスを行っております。

データAIソリューションビジネスは、今年度から新規事業として開始し、データウェアハウスから業務アプリケーションまで網羅的に支援できる体制の構築を行いました。

以上の結果、データAIソリューションビジネスで新規顧客の獲得が伸長し、当第3四半期連結累計期間のビッグデータ解析事業の売上高は1,209,790千円（前年同期比35.8%増）、セグメント利益は213,877千円（前年同期比18.4%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産合計は17,418,225千円となり、前連結会計年度末に比べて2,757,566千円減少いたしました。

流動資産は16,500,307千円となり、前連結会計年度末と比較して3,059,671千円減少いたしました。これは主に、営業貸付金が1,968,794千円、現金及び預金が685,711千円増加した一方、証券業における預託金、信用取引資産、並びに短期差入保証金があわせて6,052,326千円減少したこと等によるものであります。

固定資産は917,918千円となり、前連結会計年度末と比較して302,105千円増加しました。これは無形固定資産が223,929千円増加したこと等によるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は8,077,941千円となり、前連結会計年度末と比較して3,375,915千円減少いたしました。

流動負債は7,366,824千円となり、前連結会計年度末に比べて3,536,375千円減少いたしました。これは主に証券業における預り金、信用取引負債、並びに受入保証金があわせて4,465,718千円減少したこと等によるものであります。

固定負債及び特別法上の準備金は711,116千円となり、前連結会計年度末に比べて160,459千円増加いたしました。これは長期借入金が205,400千円増加したこと等によるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は9,340,284千円となり、前連結会計年度末に比べて618,349千円増加いたしました。これは主に、利益剰余金が413,368千円、新株予約権が84,164千円増加したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年3月期の連結業績予想につきましては、最近の業績の動向等を踏まえ、2024年5月14日に公表した「2025年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」の数値を修正しております。

詳細は本日(2025年2月14日)付で公表いたしました「通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,768,814	5,454,525
売掛金	814,966	596,136
契約資産	171,679	273,579
営業貸付金	816,448	2,785,242
買取債権	68,461	223,577
証券業における預託金	7,571,000	5,107,000
証券業における信用取引資産	3,613,067	75,340
証券業における短期差入保証金	1,097,456	1,046,856
未収入金	195,595	432,633
その他	450,812	521,517
貸倒引当金	△8,321	△16,103
流動資産合計	19,559,978	16,500,307
固定資産		
有形固定資産	108,779	88,964
無形固定資産	266,434	490,364
投資その他の資産	240,599	338,589
固定資産合計	615,813	917,918
資産合計	20,175,791	17,418,225

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	68,642	32,516
契約負債	227,099	243,651
未払金	550,574	521,047
証券業における預り金	4,571,730	4,178,294
証券業における信用取引負債	1,021,650	-
証券業における受入保証金	3,055,206	4,575
1年内返済予定の長期借入金	266,400	528,000
未払法人税等	163,567	73,985
賞与引当金	-	72,620
信託型ストックオプション関連損失引当金	-	32,895
その他	978,327	1,679,237
流動負債合計	10,903,199	7,366,824
固定負債		
長期借入金	400,400	605,800
繰延税金負債	7,910	199
信託型ストックオプション関連損失引当金	38,949	-
資産除去債務	42,160	42,160
固定負債合計	489,419	648,159
特別法上の準備金		
金融商品取引責任準備金	61,237	62,957
特別法上の準備金合計	61,237	62,957
負債合計	11,453,856	8,077,941
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	105,139	158,088
資本剰余金	12,232,959	12,285,908
利益剰余金	△4,169,231	△3,755,863
自己株式	-	△0
株主資本合計	8,168,866	8,688,132
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△5	-
繰延ヘッジ損益	△3,600	-
為替換算調整勘定	16,384	18,031
その他の包括利益累計額合計	12,777	18,031
新株予約権	38,390	122,554
非支配株主持分	501,900	511,565
純資産合計	8,721,935	9,340,284
負債純資産合計	20,175,791	17,418,225



## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
売上高	3,633,399	5,192,480
売上原価	1,515,660	1,845,080
売上総利益	2,117,738	3,347,399
販売費及び一般管理費	2,079,583	2,845,572
営業利益	38,155	501,827
営業外収益		
受取利息	6,596	2,814
受取配当金	5	5
為替差益	888	-
消費税等差額	2,420	-
その他	2,543	3,557
営業外収益合計	12,453	6,377
営業外費用		
支払利息	7,060	9,341
投資有価証券評価損	10,000	-
為替差損	-	6,865
その他	456	1,653
営業外費用合計	17,516	17,859
経常利益	33,092	490,345
特別利益		
新株予約権戻入益	-	1
特別利益合計	-	1
特別損失		
減損損失	20,955	7,733
金融商品取引責任準備金繰入	8,684	1,719
信託型ストックオプション関連損失	107,051	2,501
特別損失合計	136,690	11,954
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△103,597	478,392
法人税、住民税及び事業税	126,263	104,104
法人税等調整額	△27,497	△48,265
法人税等合計	98,765	55,838
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△202,363	422,553
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△60,576	9,453
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△141,787	413,100

## 四半期連結包括利益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△202,363	422,553
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△118	5
繰延ヘッジ損益	△3,914	3,600
為替換算調整勘定	△775	2,128
その他の包括利益合計	△4,807	5,734
四半期包括利益	△207,171	428,287
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△146,792	418,354
非支配株主に係る四半期包括利益	△60,379	9,933

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第3四半期連結会計期間において新株予約権の行使による払い込みにより、資本金及び資本準備金がそれぞれ52,949千円増加しております。

この結果、当第3四半期連結会計期間末において、資本金が158,088千円、資本剰余金が12,285,908千円となっております。

(会計方針の変更)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、これによる四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。当該会計方針の変更は、遡及適用され、前四半期及び前連結会計年度については遡及適用後の四半期連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。なお、これによる前年四半期の四半期連結財務諸表及び前連結会計年度の連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

前第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	金融インフラ ストラクチャ 事業	フィンテック ソリューション 事業	ビッグデータ 解析事業	計		
売上高						
証券インフラストラクチャ ビジネス	899,993	—	—	899,993	—	899,993
保険インフラストラクチャ ビジネス	467,341	—	—	467,341	—	467,341
クレジットインフラ ストラクチャビジネス	179,194	—	—	179,194	—	179,194
マーケティングビジネス	—	99,064	—	99,064	—	99,064
ソリューションビジネス	—	817,253	—	817,253	—	817,253
データライセンスビジネス	—	—	772,747	772,747	—	772,747
データ解析支援ビジネス	—	—	118,152	118,152	—	118,152
顧客との契約から生じる 収益	1,546,530	916,318	890,900	3,353,748	—	3,353,748
その他の収益	279,651	—	—	279,651	—	279,651
外部顧客への売上高	1,826,181	916,318	890,900	3,633,399	—	3,633,399
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	1,826,181	916,318	890,900	3,633,399	—	3,633,399
セグメント利益又は損失(△)	△291,167	114,166	180,640	3,639	34,515	38,155

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額34,515千円は、報告セグメントに配分していない全社収益及び全社費用の純額34,515千円が含まれております。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

当第3四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	金融インフラ ストラクチャ 事業	フィンテック ソリューション 事業	ビッグデータ 解析事業	計		
売上高						
証券インフラストラクチャ ビジネス	1,787,792	—	—	1,787,792	—	1,787,792
保険インフラストラクチャ ビジネス	704,992	—	—	704,992	—	704,992
クレジットインフラ ストラクチャビジネス	169,094	—	—	169,094	—	169,094
マーケティングビジネス	—	78,356	—	78,356	—	78,356
ソリューションビジネス	—	907,762	—	907,762	—	907,762
データライセンスビジネス	—	—	897,872	897,872	—	897,872
データ解析支援ビジネス	—	—	311,917	311,917	—	311,917
顧客との契約から生じる 収益	2,661,879	986,119	1,209,790	4,857,788	—	4,857,788
その他の収益	334,692	—	—	334,692	—	334,692
外部顧客への売上高	2,996,571	986,119	1,209,790	5,192,480	—	5,192,480
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	2,996,571	986,119	1,209,790	5,192,480	—	5,192,480
セグメント利益	245,714	37,833	213,877	497,425	4,401	501,827

(注) 1. セグメント利益の調整額4,401千円は、報告セグメントに配分していない全社収益及び全社費用の純額4,401千円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
減価償却費	59,327千円	82,849千円